図書館情報交流会

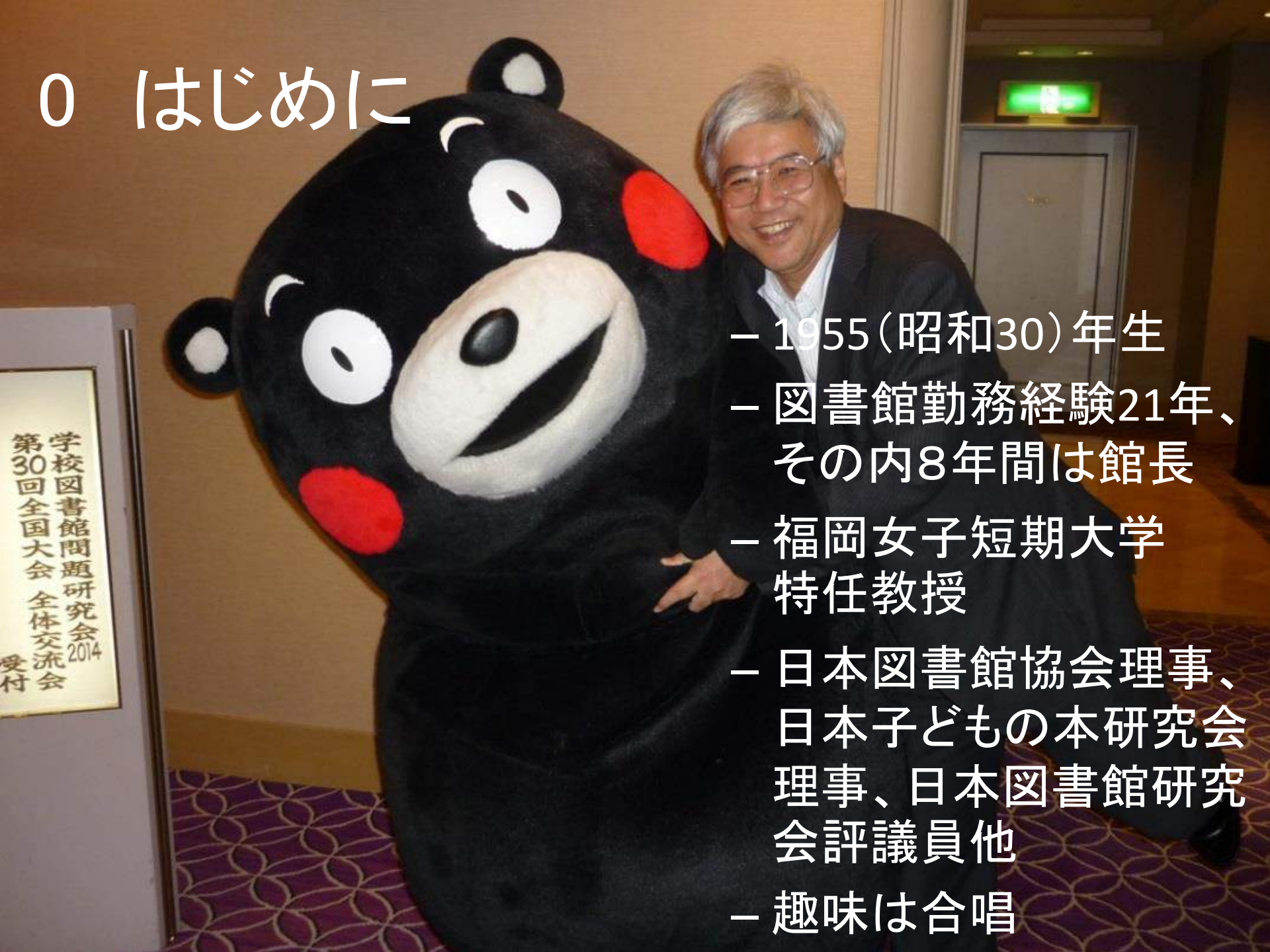
2017(平成29)年6月23日

公共図書館の学校支援･連携



福岡女子短期大学特任教授
前小郡市立図書館長
永 利 和 則

0　はじめに



- 1955（昭和30）年生
- 図書館勤務経験21年、その内8年間は館長
- 福岡女子短期大学 特任教授
- 日本図書館協会理事、日本子どもの本研究会理事、日本図書館研究会評議員他
- 趣味は合唱

1　公共図書館の現状

1-1　公共図書館の統計は?（日本図書館協会調査）

	2015(平成27年)	⇒	2016(平成28年)	
– 図書館総数(館)	3,241	⇒	3,280	↑
– 設置率内訳(%)　市区	98.8	⇒	98.9	↑
町村	55.1	⇒	55.9	↑
– 専任正規職員数(人)	10,539	⇒	10,443	↓
【うち司書・司書補(人)	5,517(52.3%)	⇒	5,451(52.2%)】	
– 非正規職員数(人)	27,315	⇒	28,460	↑
【うち司書・司書補(人)	15,511(56.8%)	⇒	16,138(56.7%)】	
– 蔵書冊数(千冊)	430,993	⇒	436,961	↑
– 個人貸出数(千点)	690,480	⇒	703,517	↑
– 予約件数(千件)	93,197	⇒	98,019	↑
– 図書予算(万円)	2,073,243	⇒	2,063,759	↓
– 指定管理者導入(館)	469(14.5%)	⇒	?	

1-2　公共図書館のさまざまな定義

・教育、文化、情報の活力であり、男女の心の中に平和と精神的な幸福を育成するための必須の機関【ユネスコ公共図書館宣言】

・社会教育施設【教育基本法】

・社会教育のための機関【社会教育法】

・国民の教育と文化の発展に寄与：資料を収集、整理、保存、提供する施設【図書館法】

・図書館奉仕を提供【文字・活字文化振興法】

・地域の知の拠点【教育振興基本計画(第1次)】、【人の、地域の、日本の未来を育てる読書環境の実現のために「国民の読書推進に関する協力者会議」報告】

・読書の楽しみを知ることができる場所【子どもの読書活動推進基本計画(第3次)】

・地域の課題解決を支援し、地域の発展を支える情報拠点【これからの図書館像】

1-3　日本国憲法　　1946(昭和21)年

第25条　すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。
２　国は、すべての生活部面について、社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進に努めなければならない。

第26条　すべて国民は、法律の定めるところにより、その能力に応じて、ひとしく教育を受ける権利を有する。
２　すべて国民は、法律の定めるところにより、その保護する子女に普通教育を受けさせる義務を負ふ。義務教育は、これを無償とする。

1-4　図書館法第3条に掲げる図書館サービス

図書館奉仕のため、(中略)おおむね次に掲げる事項の実施に努めなければならない。

1　図書館資料の収集、提供
2　図書館資料の分類排列、目録整備
3　利用のための相談
4　図書館資料の相互貸借
5　分館等の設置、自動車文庫等巡回
6　読書会、研究会等の主催、開催の奨励
7　時事情報及び参考資料の紹介、提供
8　教育活動等の機会の提供、提供の奨励
9　学校、博物館、公民館、研究所等との連絡、協力


▼旭川市中央図書館

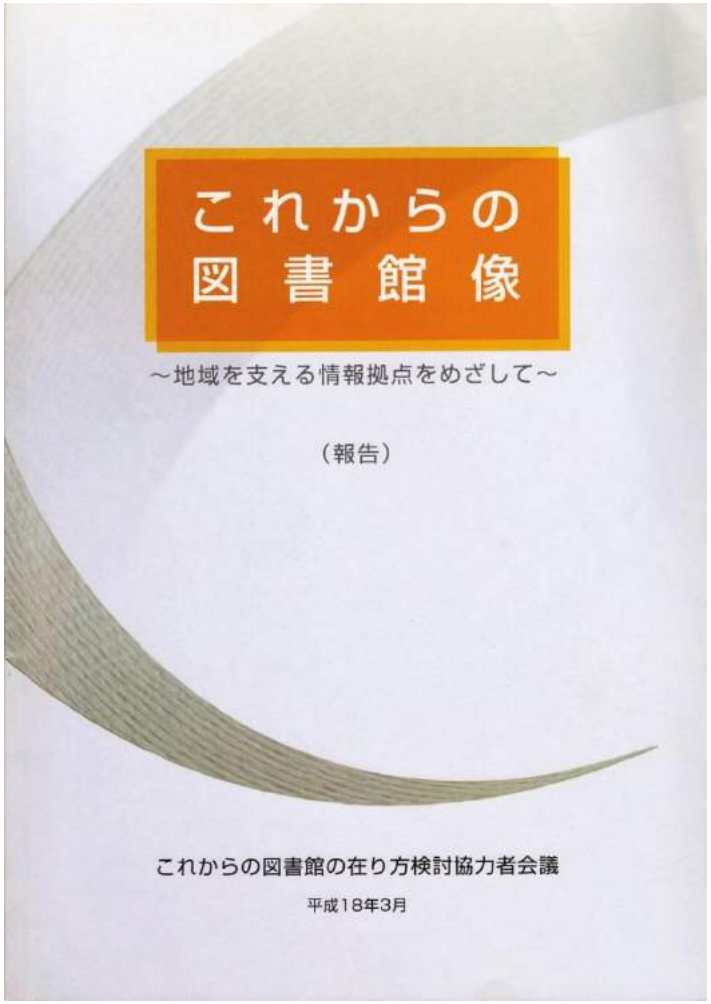

▼苅田町立図書館「おはなしタイム」



▼浦安市立中央図書館「本の案内」

写真：近代日本公共図書館年表1867～2005　奥泉和久編著　2009年　日本図書館協会

1-5　これからの図書館像～地域を支える情報拠点、地域の課題解決～　2006(平成18)年



2．これからの図書館サービスに求められる新たな視点

⑴図書館活動の意義の理解促進
⑵レファレンスサービスの充実と利用促進
⑶課題解決支援機能の充実
⑷紙媒体と電子媒体の組合せによるハイブリッド図書館の整備
⑸多様な資料の提供
⑹児童・青少年サービスの充実
⑺他の図書館や関係機関との連携・協力
①図書館間の連携・協力
②行政部局、各種団体・機関との連携・協力
⑻学校との連携・協力
⑼著作権制度の理解と配慮

1-6　ニッポン一億総活躍プラン　　2016(平成28)年6月

◎女性も男性も、お年寄りも若者も、一度失敗を経験した方も、障害や難病のある方も、家庭で、職場で、あらゆる場で、誰もが活躍できる、いわば全員参加型の社会である。





○働き方改革　　○子育て・介護の環境整備
○すべての子供が希望する教育を受けられる環境の整備
○「希望出生率1.8」に向けた取組　　○「介護離職ゼロ」に向けた取組
○「戦後最大の名目GDP600兆円」に向けた取組
○10年先の未来を見据えたロードマップ

1-7　アンケート「自治体の総合計画等における図書館政策の位置づけについて」結果・日本図書館協会　2017(平成29)年1月

〇アンケート調査の回答数
1,049（図書館設置自治体数1,361の77%）
〇まちづくりや地域振興に役立つ目的で事業を行っていると答えた図書館
497自治体（回答数の47%,、全体の37%）、597の事業数
九州では、福岡県29、佐賀県9、長崎県7、熊本県4、大分県6、宮崎県6、鹿児島県8、沖縄県8、合計77自治体
〇地方創生総合戦略に掲載した自治体数
88自治体(回答数の8.4%、全体の6.5%)

アンケート「自治体の総合計画等における図書館政策の位置づけについて」結果

2017. 1. 10

	図書館設置自治体数	アンケート回答数	まちづくり等事業実施自治体数	まちづくり等事業検討中自治体数	総合計画等掲載自治体	うち地方創生総合戦略に掲載自治体数	総合計画等検討中自治体
北日本	246	191	85	8	118	12	5
関東	408	288	138	10	200	19	6
東海北陸	160	143	69	8	98	18	6
近畿	161	130	63	4	90	15	10
中国四国	177	131	58	13	80	14	4
九州	209	166	84	11	103	10	8
計	1361	1049	497	54	689	88	39

2　学校図書館と教育を取りまく急激な変化

2-1　学校図書館の統計

文部科学省調査　2016(平成28)年10月

	小学校	中学校
全国公立学校数(12学級以上)	19,945（11,092）	10,255(4,976)
司書教諭発令学校数	13,557(68.0%)	6,663(65.0%)
学校司書配置学校数	11,803(59.2%)	5,969(58.2%)
司書教諭・学校司書をともに配置	8,730(43.8%)	4,351(42.4%)
図書標準達成学校数（%）	13,023(66.4%)	5,210(55.3%)
公共図書館との連携(%)	16,119(82.2%)	5,424(57.5%)
内訳:学校への資料貸出(%)	15,288(74.5%)	4,663(40.1%)
定期的な連絡会(%)	3,625(18.5%)	1,695(18.0%)
図書館司書の学校訪問(%)	4,113(21.0%)	1,191(12.6%)

2-2　文部科学省が学校図書館の効果をPR

2015(平成27)年4月





-5-

〇読書と学力・・・　読書好きほど学力が高い

〇保護者の関与と学力・・・保護者が読書活動の働きかけをするほど学力が高い

〇読書と学校司書・・・　学校司書を置いている学校ほどよく本を読んでいる

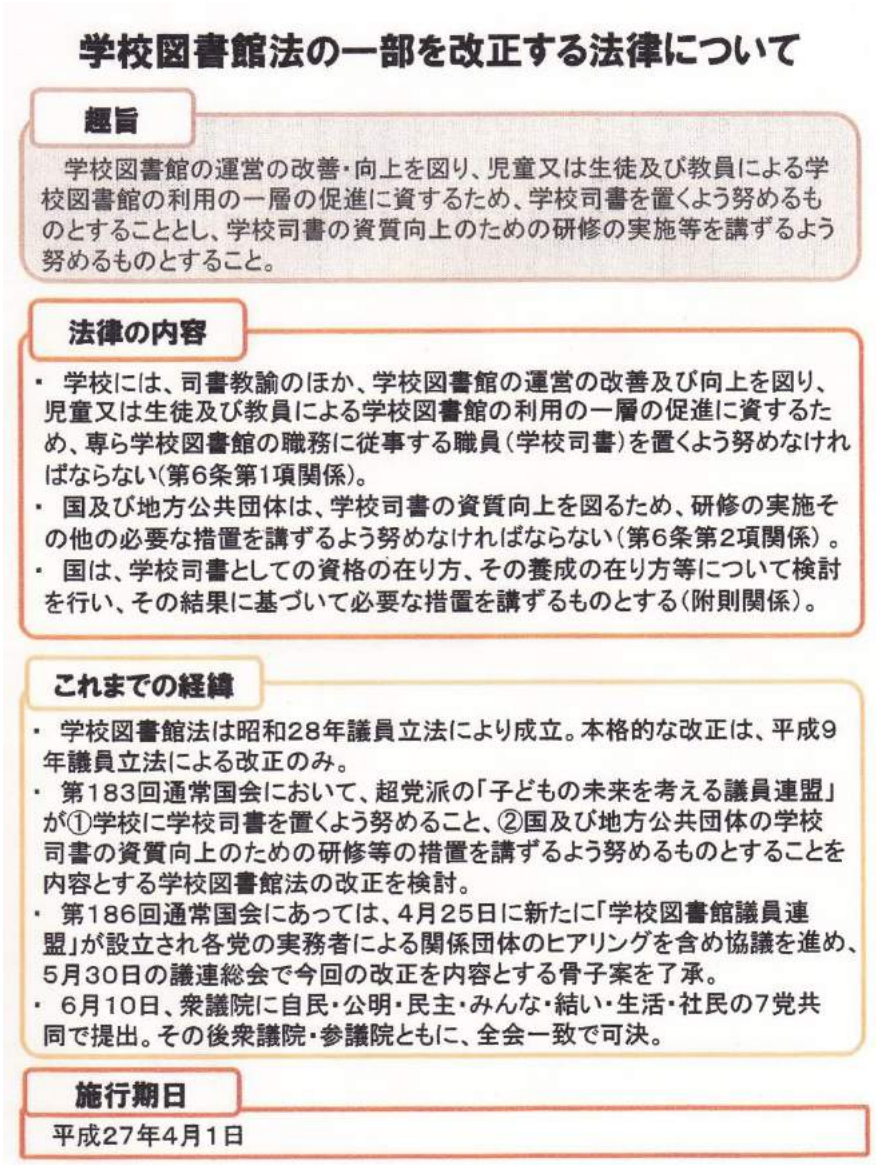
	平成21年度		平成25年度
小学校	47.2冊	⇒	65.9冊
中学校	7.9冊	⇒	11.6冊

〇地方交付税措置

(平成24年度～平成28年度)	⇒	(平成29年度～平成33年度)
・図書購入費　200億円		220億円(増加分65億円、更新分155億円)
・新聞　小中学校1紙　15億円		小学校1紙、中学校2紙、20億円 高等学校4紙　10億円
(平成24年度から単年度更新)	⇒	(平成29年度～平成33年度)
・学校司書配置　2校1人で105万円 150億円		1.5校1人で105万円 220億円

2-3　学校図書館法の一部を改正する法律

2014(平成26)年6月20日



学校図書館法の一部を改正する法律について

趣旨

学校図書館の運営の改善・向上を図り、児童又は生徒及び教員による学校図書館の利用の一層の促進に資するため、学校司書を置くよう努めるものとすることとし、学校司書の資質向上のための研修の実施等を講ずるよう努めるものとすること。

法律の内容

- 学校には、司書教諭のほか、学校図書館の運営の改善及び向上を図り、児童又は生徒及び教員による学校図書館の利用の一層の促進に資するため、専ら学校図書館の職務に従事する職員（学校司書）を置くよう努めなければならない（第6条第1項関係）。
- 国及び地方公共団体は、学校司書の資質向上を図るため、研修の実施その他の必要な措置を講ずるよう努めなければならない（第6条第2項関係）。
- 国は、学校司書としての資格の在り方、その養成の在り方等について検討を行い、その結果に基づいて必要な措置を講ずるものとする（附則関係）。

これまでの経緯

- 学校図書館法は昭和28年議員立法により成立。本格的な改正は、平成9年議員立法による改正のみ。
- 第183回通常国会において、超党派の「子どもの未来を考える議員連盟」が①学校に学校司書を置くよう努めること、②国及び地方公共団体の学校司書の資質向上のための研修等の措置を講ずるよう努めるものとすることを内容とする学校図書館法の改正を検討。
- 第186回通常国会にあっては、4月25日に新たに「学校図書館議員連盟」が設立され各党の実務者による関係団体のヒアリングを含め協議を進め、5月30日の議連総会で今回の改正を内容とする骨子案を了承。
- 6月10日、衆議院に自民・公明・民主・みんな・結い・生活・社民の7党共同で提出。その後衆議院・参議院ともに、全会一致で可決。

施行期日

平成27年4月1日

〇趣旨と内容

①学校図書館の運営の改善及び向上

②児童又は生徒及び教員による学校図書館の利用促進

③学校司書の配置

④学校司書の資質の向上を図るための研修の実施

⑤学校司書としての資格の在り方、その養成の在り方等について検討及び必要な措置

◎学校司書の職務の内容⇒専門的知識及び技能を必要

◎平成27年4月1日から施行

2-4　これからの学校図書館の整備充実について

（報告）学校図書館の整備充実に関する調査研究協力者会議　2016(平成28)年10月



これからの学校図書館の整備充実について（報告）の概要

検討の背景

○ これからの学校図書館の役割を踏まえ、学校図書館の運営に係る基本的な視点を整理する必要
○ 学校図書館法の一部改正法（平成26年6月）の附則において、学校司書としての資格・養成の在り方等について検討を行う旨の規定

1. 基本的な考え方

○ これからの学校図書館は、読書活動における利活用に加え、授業における様々な学習における利活用を通じて、子供たちの言語能力、情報活用能力等の育成を支え、主体的・対話的で深い学び（アクティブ・ラーニングの視点からの学び）を効果的に進める基盤としての役割が重要
○ 学校図書館に期待されている役割を果たすために、図書館資料の充実と、司書教諭及び学校司書の配置充実やその資質能力の向上の双方が重要

2. 現状における課題

○ 小学校における外国語教育、特別支援教育や外国人児童生徒に対する対応、主権者教育の推進など新たなニーズに応えられる図書館資料の整備が課題
○ 社会の変化や学問の進展により誤った情報を記載している図書がそのまま置かれていたりする状況も一部にあり、図書館資料の適切な廃棄・更新を行うことが課題
○ 学校司書が保有する資格や知識・技能等の状況は様々であり、その養成等の在り方が課題

3. 具体的な方策

① 学校図書館ガイドラインの作成

○ 学校図書館の整備充実を図るため、学校図書館の運営上の重要な事項について、教育委員会や学校等にとって参考となるよう、その望ましい在り方を示す「学校図書館ガイドライン」を作成

(1)学校図書館の目的・機能	（読書センター・学習センター・情報センターとしての機能）
(2)学校図書館の運営	（校長は学校図書館長としてリーダーシップを発揮、可能な限り開館）
(3)学校図書館の利活用	（児童生徒の読書活動や学習活動を充実）
(4)学校図書館に携わる教職員等	（司書教諭と学校司書の連携・協力）
(5)学校図書館における図書館資料	（新たなニーズへの対応、調和のとれた蔵書構成、適切な廃棄・更新）
(6)学校図書館の施設	（調べ学習等での利活用ができるよう施設を整備・改善）
(7)学校図書館の評価	（外部の視点を取り入れ、評価結果等を公表）

② 学校司書のモデルカリキュラムの作成

○ 学校司書の養成は現行の司書や司書教諭の養成と同様に大学及び短期大学において担うことが適切
○ 学校司書に求められる知識・技能を整理した上で、それらの専門的知識・技能を習得できる望ましい科目・単位数等を示す「学校司書のモデルカリキュラム」を作成

学校図書館の運営・管理・サービスに関する科目
- 学校図書館概論
- 図書館情報技術論
- 図書館情報資源概論
- 情報資源組織論
- 情報資源組織演習
- 学校図書館サービス論
- 学校図書館情報サービス論

児童生徒に対する教育支援に関する科目
- 学校教育概論
- 学習指導と学校図書館
- 読書と豊かな人間性

※ 網掛けの科目は学校司書の必修の科目、一部の科目は読み替えが可能

③ 今後求められる取組

○ 国 → 学校図書館ガイドライン及び学校司書のモデルカリキュラムの周知や普及
○ 教育委員会等 → 学校図書館ガイドラインを踏まえた学校図書館の充実に向けた施策の推進

○文部科学省は、11月29日付で都道府県教育委員会等に「学校図書館の整備充実について（通知）」を発出

○基本的な考え方

・子供たちの言語能力、情報活用能力等の育成を支え、主体的・対話的で深い学び（アクティブ・ラーニングの視点からの学び）を効果的に進める基盤としての役割

○具体的な方策

⑴学校図書館ガイドラインの作成

・学校図書館の運営上の重要な事項（司書教諭と学校司書の連携・協力等7項目）

⑵学校司書のモデルカリキュラムの作成

・学校司書の養成→大学及び短大

・学校図書館の運営・管理・サービスに関する科目、児童生徒に対する教育支援に関する科目

⑶今後求められる取組

・国→学校図書館ガイドライン及び学校司書のモデルカリキュラムの周知や普及

・教育委員会等→学校図書館ガイドラインを踏まえた学校図書館の充実に向けた施策の推進

2-5　学校図書館の整備充実について（通知）、「学校司書のモデルカリキュラム」について（通知）

文部科学省　2016(平成28)年11月

学校図書館の整備充実について（通知）



学校図書館の整備充実について（通知）

1　「学校図書館ガイドライン」について
2　教育委員会等における取組
　(1)学校図書館の充実に向けた施策の推進
　(2)司書教諭配置の徹底
　(3)学校司書の配置やその支援の継続
　(4)司書教諭や学校司書を対象とした研修の実施
3　学校における取組

○「学校図書館ガイドライン」は，教育委員会や学校等にとって参考となるよう，学校図書館の運営上の重要な事項についてその望ましい在り方を示したもの

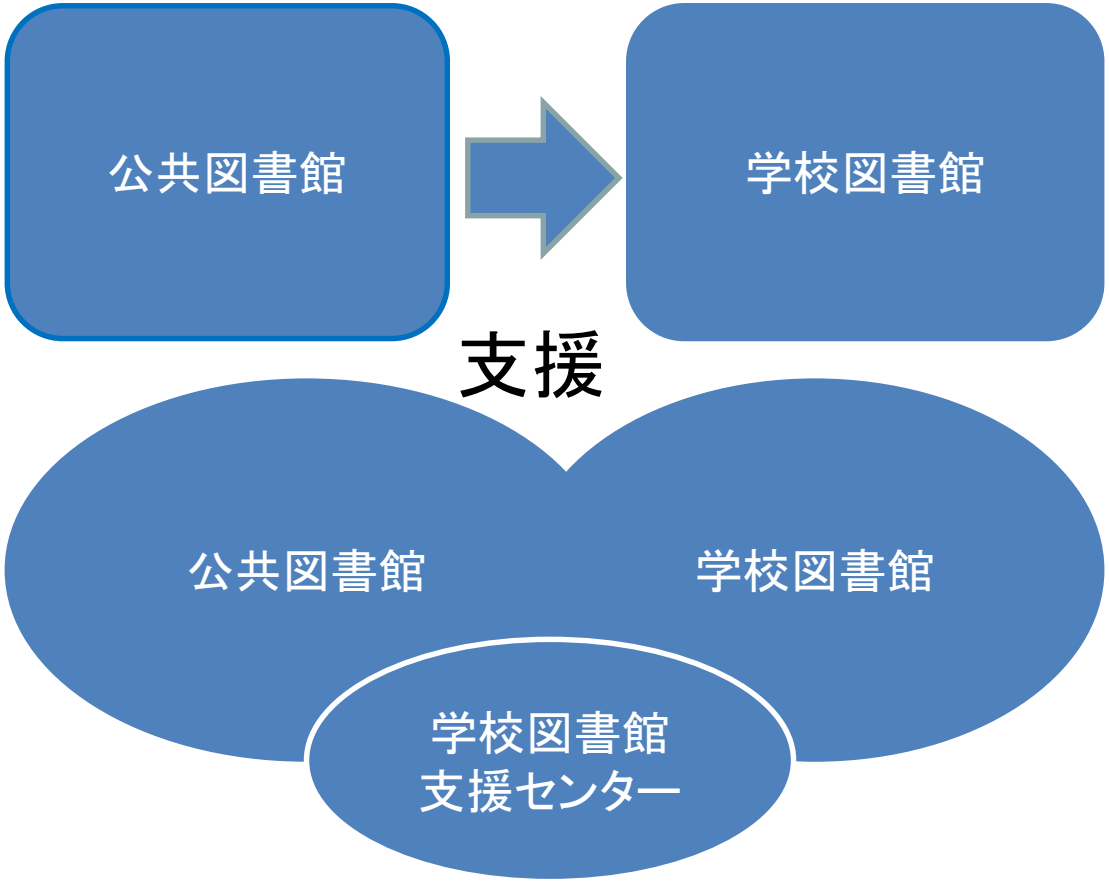
学校司書のモデルカリキュラム」について（通知）



○学校司書の養成に当たる大学等は、モデルカリキュラムを踏まえた授業科目の開講や履修証明プログラムを実施

○学校司書　10科目20単位
（独自：学校図書館サービス論）
司書教諭　5科目10単位
司書　13科目24単位

2-6　公共図書館と学校図書館の連携・支援のイメージ



要素・前提

『天』がいること
『得』をすること
『法』があること
『要望』があること
『独立』していること

3　まとめ

3-1　これからの公共図書館

①平等を保障する公共図書館

⇒健康で文化的な最低限度の生活を営む権利の保障（憲法25条）

⇒教育の機会均等の保障(憲法26条)

②教育を担う公共図書館

⇒学校教育での「生きる力」を支援

⇒生涯学習社会での「生き抜く力」を育む

③地域の課題を解決する公共図書館

⇒地域の活性化、歴史・文化の継承、市民との協働、子育て支援、教育力の向上

⇒各自治体のマスタープランで明文化

④時間と空間をつなぐ公共図書館

⇒人の知恵と知識を世界と未来へ

4　小郡市での市立図書館と学校図書館の連携・支援

4-1 小郡市の概要

〇位置　　福岡県南西部、筑後地区の北端
〇面積　　45．51㎢(県内30位、森林1．58 ㎢)
〇人口　　59，151 人(県内15位、高齢化率25.5 %)
〇財政　　19，598，000千円（平成27年度決算）
〇学校等
・保育所、園(市立3、私立9)
・幼稚園(市立2、私立3)
・小学校(市立8、私立1)
・中学校(市立5)
・高等学校(県立2)
・特別支援学校(県立1)
・専門学校(私立5)



4-2 小郡市立図書館の概要

- あゆみ
  - 昭和62年11月　図書館・文化会館開館
  - 平成14年4月　財団法人へ移行、文部科学大臣表彰
  - 平成18年4月　指定管理者制度導入
  - 平成21年4月　直営に移行、教育委員会の課として位置づけ
  - 平成26年1月　三国校区公民館図書室リニューアルオープン
  - 平成29年4月　教育委員会の係として位置づけ
- 蔵書232，245冊、貸出冊数401,580冊(市民一人当たり6．8冊、人口5万人規模の90市区中18位)、登録者31，221人(52．8%)
- 延床面積1，586．34㎡
- 図書館費37，889千円、図書購入費15，500千円、新聞・雑誌購入費2，100千円
- 職員17名(市職員3名、市嘱託職員14名、うち司書14名)

小郡市立図書館の運営方針

「ひらかれた図書館－親しみやすく、入りやすく、いこいとやすらぎのある図書館」

- すべての市民のニーズに応えて
  ⇒いつでも、どこでも、だれでも
  - 出産前、乳幼児、青少年、成人、高齢者
  - 就業支援、障害者支援、介護認定者支援
- すべての学校のニーズに応えて
  ⇒地域の情報拠点
  - 幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、専門学校

4-3　読書活動推進への流れ

○市長マニフェストから
子ども読書活動推進の諸計画策定へ

平成21 年2月　市長マニフェストで「読書のまちづくり日本一」を提案
平成21 年4月　指定管理者制度から直営に戻る

平成21 年度以降、「子ども読書」の街づくり推進事業を実施
平成21 年度以降の小郡市教育施策要綱
平成23年2月　第2次小郡市子ども読書活動推進計画を策定
平成23 年4月　第5次小郡市総合振興計画を策定



「読書のまちづくり日本一」、「家読」の明文化

小郡市立図書館のサービス網

地域・家庭

・貸出、リクエスト、レファレンス、コピー
・WEBサービス
・お話会、講座、実習・研修受入
・ブックポスト（市内5カ所）
・インターネット用パソコン
・視覚障害者用手話通訳モニター
・宅配サービス、ブックスタート、子育て連絡会
・図書館海賊隊、子どもゆめ基金事業
・子ども図書の街づくり事業



小郡市立図書館
学校図書館支援センター



本館1館、1,585㎡（野田宇太郎文学資料館を含む）
蔵書冊数21万冊、貸出冊数約42万冊



移動図書館車1台
市内25カ所を2週間に1回巡回
（小学校、病院、幼稚園、保育所等）
約3,000冊の本・雑誌等を積載

幼稚園・保育所



・出張お話会、講座
・団体貸出
・読書ボランティア講演会

学校





・電算ネットワーク、物流ネットワーク
・公共図書館と学校図書館の利用者カードの共有化
・学校・学級文庫への団体貸出
・合同会議、司書研究会、教職員研修会
・図書館見学、職場体験
・読み聞かせボランティアの研修
・新一年生への図書館バックの配布

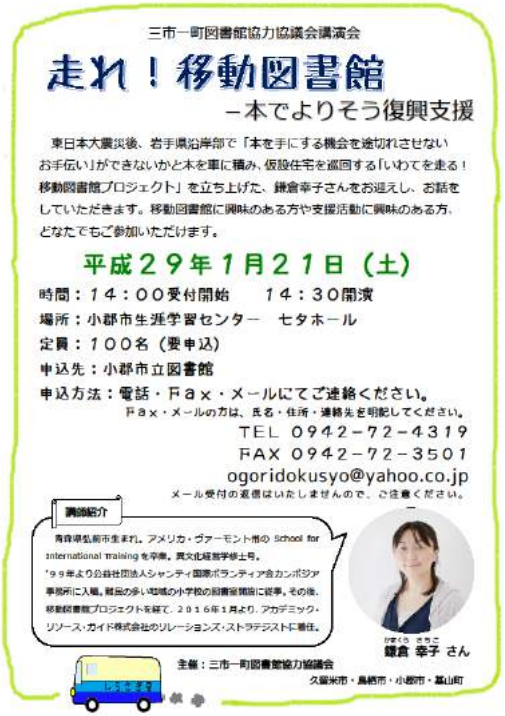


4-4　市民のニーズとサービス

- 一般的なサービス及び事業
  - 貸出、リクエスト、レファレンス、コピー
  - お話し会、講座、実習・研修等受入
  - 団体貸出、移動図書館車(市内24カ所)
- 特徴的なサービス及び事業
  - 本の返却ポスト(市内6カ所)
  - インターネット用パソコン、宅配サービス、ブックスタート、赤ちゃん絵本パック、子育て連絡会
  - 図書館海援隊、子どもゆめ基金事業、子ども読書の街づくり事業
  - 市役所関係課と連携した展示
  - 三市一町（久留米・鳥栖・小郡・基山）図書館協力事業
  - 近隣図書館(筑紫野市・久留米市・うきは市・大川市・鳥栖市・筑前町・大刀洗町・大木町・基山町)との相互利用
  - 野田宇太郎文学資料館

○三市一町（久留米・鳥栖・小郡・基山）協力事業

『三市一町図書館協力協議会講演会・鎌倉幸子氏』


三市一町図書館協力協議会講演会

走れ！移動図書館

－本でよりそう復興支援

東日本大震災後、岩手県沿岸部で「本を手にする機会を途切れさせない お手伝い」ができないかと本を車に積み、仮設住宅を巡回する「いわてを走る！ 移動図書館プロジェクト」を立ち上げた、鎌倉幸子さんをお迎えし、お話をしていただきます。移動図書館に興味のある方や支援活動に興味のある方、どなたでもご参加いただけます。

平成２９年１月２１日（土）

時間：１４：００受付開始　１４：３０開演

場所：小郡市生涯学習センター　七夕ホール

定員：１００名（要申込）

申込先：小郡市立図書館

申込方法：電話・Ｆａｘ・メールにてご連絡ください。

Ｆａｘ・メールの方は、氏名・住所・連絡先を明記してください。

TEL 0942-72-4319

FAX 0942-72-3501

ogoridokusyo@yahoo.co.jp

メール受付の返信はいたしませんので、ご注意ください。

講師紹介

青森県弘前市生まれ。アメリカ・ヴァーモント州の School for International Training を卒業。異文化経営学修士号。

'９９年より公益社団法人シャンティ国際ボランティア会カンボジア事務所に入職。難民の多い地域の小学校の図書室開設に従事。その後、移動図書館プロジェクトを経て、２０１６年１月より、アカデミック・リソース・ガイド株式会社のリレーションズ・ストラテジストに着任。

鎌倉 幸子 さん

主催：三市一町図書館協力協議会

久留米市・鳥栖市・小郡市・基山町





『図書館からキックオフ・アビスパ福岡・サガン鳥栖合同展示』

•協力業務

- •域内住民の相互利用
- •資料の相互貸借
- •連絡車の運行
- •「連絡車通信」の発行
- •講演会、視察等の研修
- •共同企画展示

○小郡市での移動図書館車による全域サービス



『3つの病院の入院患者さんへ』



『全ての公立小学校8校へ』

移動図書館車しらさぎ号 巡回予定表

２０１４年４月～５月

小郡市立図書館（TEL 0942-72-4319）

コース及び曜日	駐車場所	時間	日程
Aコース（隔週木曜日）	ひまわり館東野	１０：２０～１０：５０	４月10日・24日
	サンホーム小郡	１１：１０～１１：４０	
	味坂小学校	１３：１５～１３：４０	
	池月苑	１３：５０～１４：２０	５月８日・22日
	小郡市教育センター	１４：３０～１５：００	※味坂小・小郡小は、4月10日運休です。
	小郡小学校	１５：１５～１５：４０	
Bコース（隔週木曜日）	みくに野団地公民館	１０：２０～１０：５０	４月３日・17日
	城山保育園	１１：１０～１１：３０	
	立石小学校	１３：１５～１３：４０	５月１日・15日・29日
	希みが丘北山公園	１４：００～１４：３０	
	美鈴が丘 上田町公園横	１４：４０～１５：００	※立石小は、4月3日運休です。
Cコース（隔週金曜日）	自衛隊大原宿舎	１０：２０～１０：５０	４月４日・18日
	本間病院	１１：００～１１：３０	
	三国小学校	１３：１５～１３：４０	５月２日・16日・30日
	ダイキョーバリュー三国が丘店	１３：５０～１４：２０	
	聖和記念病院	１４：３０～１５：００	※三国小は、4月4日運休です。
Dコース（隔週金曜日）	小郡交流センター	１０：２０～１０：５０	４月11日・25日
	大崎保育所	１１：０５～１１：３０	
	のぞみが丘小学校	１３：２０～１３：５０	
	三国幼稚園	１４：０５～１４：３５	５月９日・23日
	丸山病院	１５：００～１５：４０	
Eコース	御原小学校	１３：１５～１３：４０	４月８日・22日
	東野小学校	１５：１０～１５：４０	５月13日・27日
Fコース	大原小学校	１３：１０～１３：４０	４月14日・28日 ５月12日・26日

雨・風の強い日は、移動図書館車の運行を中止いたします。

４月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	⑦	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	㉑	22	23	24	25	26
27	28	29	㉚			

５月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	⑤	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	⑲	20	21	22	23	24
25	26	27	㉘	29	30	31

○で囲んだ日は休館日です。



○一般・高齢者・
病院入院患者支援

『本の返却ポストを6ヶ所設置』



『高齢者等への本の宅配』



『本間病院でのおはなし会』

○図書館海援隊「就業支援」



『ハローワーク等からの
情報提供コーナー』



『公衆電話コーナー跡の
情報提供コーナー』



『資格取得、就職関係
図書コーナー』

4-5　学校のニーズとサービス

- 一般的なサービス及び事業
  - 学校・学級文庫への団体貸出
  - 移動図書館車(全８小学校)
  - 図書館見学、職場体験の受入
- 特徴的なサービス及び事業
  - コンピュータネットワーク、物流ネットワーク
  - 学校図書館関係者合同会議、司書研修会、教職員研修会
  - 公共図書館と学校図書館の利用者カードの共通化
  - 学校給食での読書関連献立
  - 新一年生への図書館バッグの配布
  - 読み聞かせボランティア研修

小郡市立図書館ネットワーク

（公共図書館・学校図書館）



市立図書館
学校図書館支援センター

市立図書館から
高校、専門学校へ
約100冊

市立図書館から
小学校、中学校へ
約9,000冊

市立図書館のネットワーク公開



市立図書館のサーバーで蔵書の一括管理
市立図書館約21万冊
学校図書館約17万冊





毎週火、金曜日 年間約80回
シルバー人材センターに委託

学校同士で約3,000冊

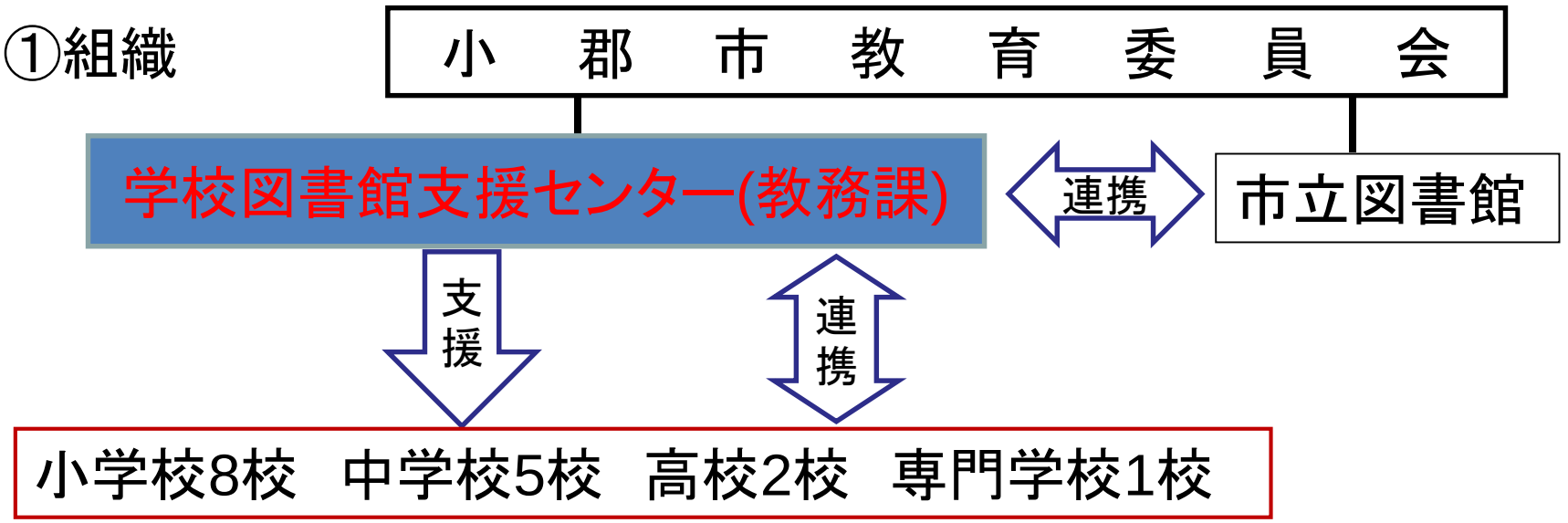


県立高校2校
私立専門学校1校



市立小学校8校
市立中学校5校

○ 学校図書館支援センター(平成18年9月～)



②構成員

・指導主事(1名)

学校図書館に関する専門的指導・助言

学校図書館支援スタッフへの指導・助言など

・学校図書館支援スタッフ(2名)

学校図書館運営、学校図書館事務、環境整備向上の支援

学校の要請に応じた支援業務、参考資料の提供

学校図書館関係者合同会議の開催など

○小郡市の学校図書館の概要

- 小学校（市立8校、私立1校）、市立中学校5校、県立高校2校、私立専門学校4校、県立特別支援学校1校
- 小学校8校、中学校5校、高校2校、専門学校1校が市立図書館のコンピュータで蔵書を一元管理
- 全体の蔵書140，091冊
- 図書購入費　1校あたり480千円～1，150千円
- 図書標準達成学校数　小学校7/8校、中学校3/5校
- 小学校5校、中学校4校に司書教諭が配置
- 全小・中学校に学校図書館担当教諭を配置
- 学校司書は全校配置（嘱託職員13名）
- 小・中学校司書（嘱託職員）の6年間での雇用止めと採用試験の再受験

○コンピュータネットワークシステム

◆利用者データの管理

『市立図書館と学校図書館の共通利用カード』





『市立図書館のカウンター』

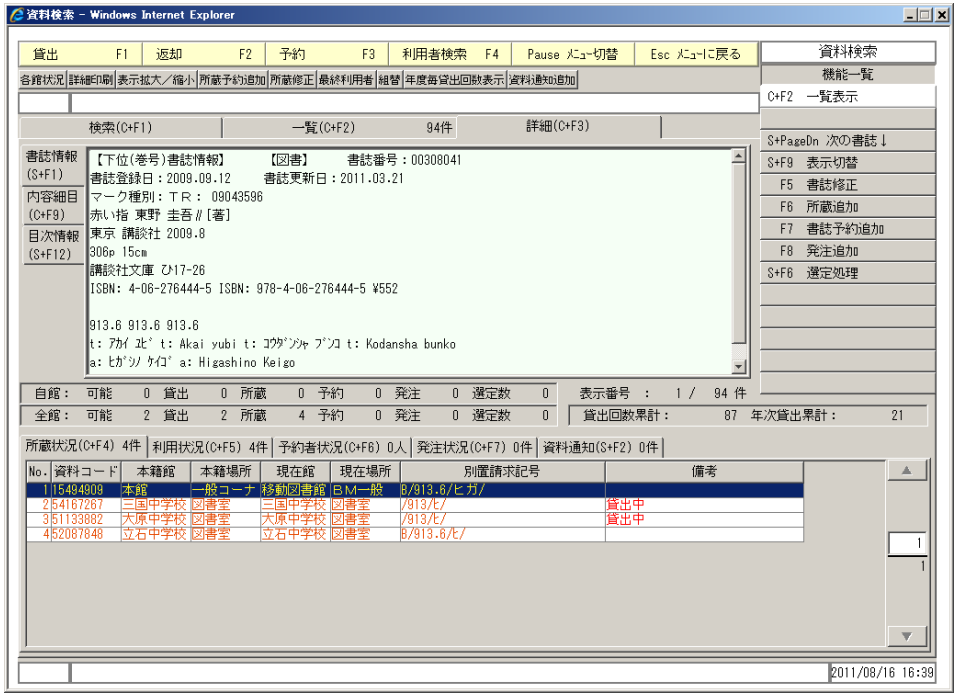


『学校図書館のカウンター』(小郡小学校)



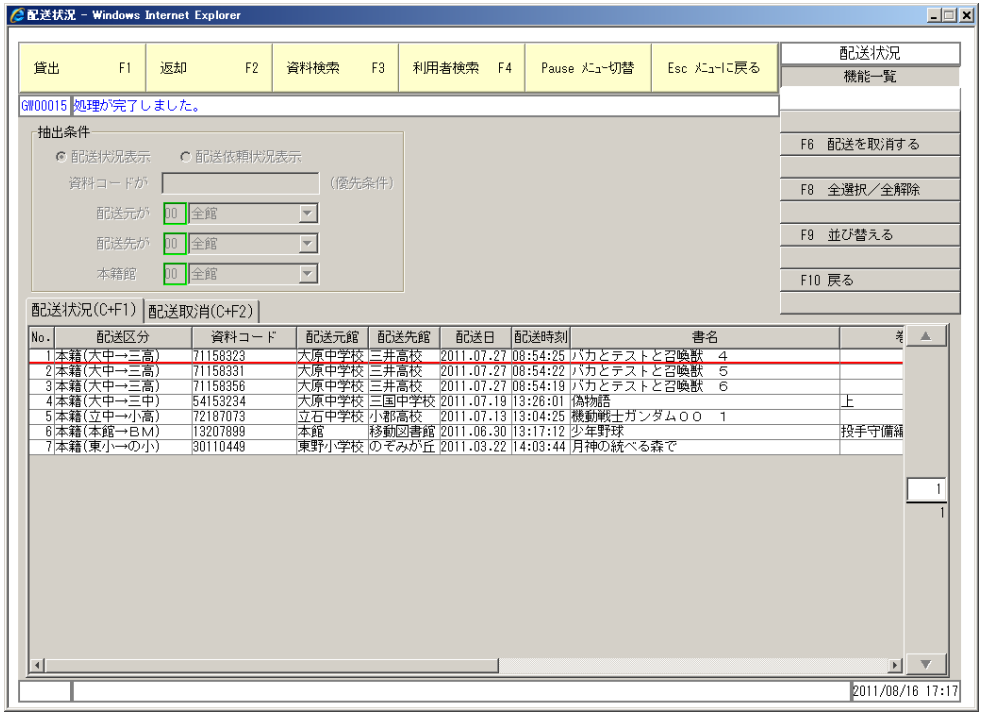
『市立図書館のサーバーで学校図書館も一括管理』

◆図書資料データの管理

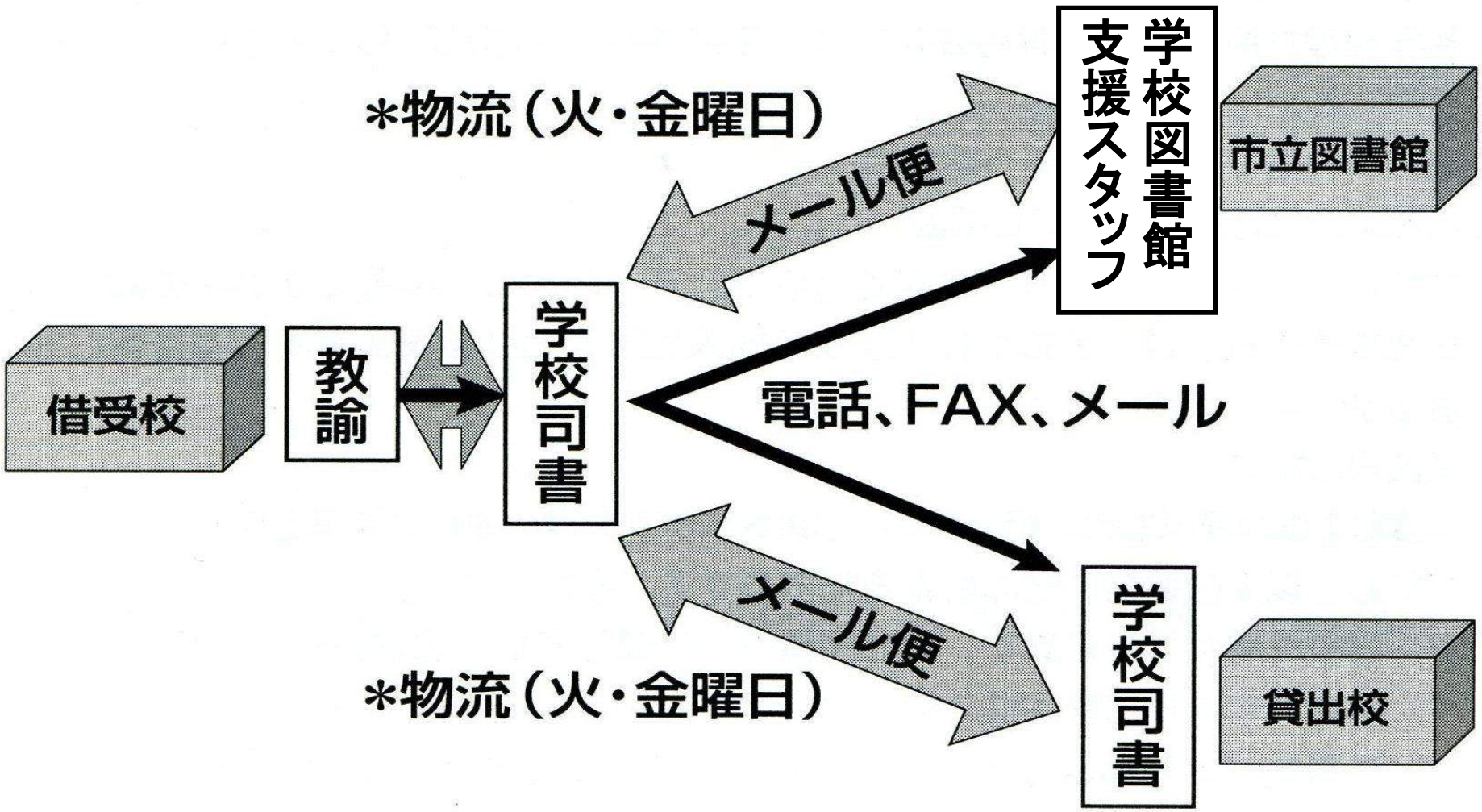


『市立図書館と各学校の図書資料
をTRCマークで統一して表示』

『相互貸借による図書資料の
配送状況を表示』



○物流ネットワークシステム



年間約14，000冊

『シルバー人材センターへ』

『市立図書館や各学校への貸出希望と問い合わせ』





『各学校の学校司書等へ』

図書貸借希望票２

市立　図書館 学校 担当者様

平成 24年 11月 20日

三国小 学校
担当司書名：

配本車にて図書資料の貸出をお願いいたします。

貸出希望期間	11月27日（火）～ 12月21日（金）
教科・単元 活動名	国語　じどう車くらべ　学年 ／ 年生
授業担当 教諭名	原、波田　対象 児童生徒用 教師用 その他（　）　必要冊数 20冊
内容	どのようなことを調べたいか等、具体的に記入してください。 ・働く自動車のつくり、はたらきについて 写真と言葉で簡単に説明された図鑑などをお願いしたい 1年生児童が、各自使用します。 他の学校と時期的に重なっているかと思いますが 用意できる冊数でも かまいません。 よろしくお願いします。
連絡事項	（貸出可能冊数等の回答を書いてください。） 21冊
市立図書館のデータ付き希望の有無	（・希望する　・希望しない）どちらかに○を付けてください。 ・希望するときは1週間まで、最低でも3日前までにお願いします。 ・学校に本が届いたら所蔵館変更処理として返却をしてください。 ・市立図書館へ返す時は、区分変更処理で「市立館」にしてください。

図書貸借希望票２

市立　図書館 学校 担当者様

平成 24年 11月 7日

のぞみが丘小 学校
担当司書名：

配本車にて図書資料の貸出をお願いいたします。

貸出希望期間	11月27日（火）～ 12月14日（金）
教科・単元 活動名	国語　学年 1年生
授業担当 教諭名	大隅　対象 児童生徒用 教師用 その他（　）　必要冊数 50冊
内容	どのようなことを調べたいか等、具体的に記入してください。 「はたらくくるま」について調べます 1年生がわかるような本を お願いします
連絡事項	（貸出可能冊数等の回答を書いてください。） 29冊+配送+6 = 35 +2 計37
市立図書館のデータ付き希望の有無	（・希望する　・希望しない）どちらかに○を付けてください。 ・希望するときは1週間　前までにお願いします。 ・学校に本が届いたら所蔵館変更処理として返却をしてください。 ・市立図書館へ返す時は、区分変更処理で「市立館」にしてください。

○資料の貸出依頼の調整



学校からの資料の貸出依頼内容

【平成 22 年度】

小郡市学校図書館支援センター

1年　自校利用の場合は＊　他校・市立図書館利用の場合は○　他校・市立図書館利用がはっきりしない場合は△

教科	単元	学校名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
国語	はる														
	あかるい こえで														
	どうぞ よろしく														
	おはなし よんで	味坂小	＊												
	うたに あわせて あいうえお														
	ふたりで おはなし														
	あかい とり ことり														
	はなの みち														
	わけを はなそう														
	なぞなぞあそび	のぞみが丘小		＊											
	あいうえおで あそぼう														
	くちばし	御原小			＊										
	なんて いったら いいのかな														
	おさるが ふねを かきました														
	こんな いしを みつけたよ														
	おむすび ころりん	のぞみが丘小			○	○									
	は・ひ・へ・ほ つかおう														
	すきな もの、なあに														
	おおきな かぶ														
	ほんは ともだち	味坂小	＊												
		東野小				○									
		大原小				＊									
		のぞみが丘小			○	○									
	かけるように なった														
	ひらがな あつまれ														
	いちねんせいの うた														
	おはなしを たのしもう よむ ゆうだち														
	はなそう、きこう はなす・きく おはなし きいて														
	かんじで かこう かずと かんじ														
	みんなで よもう よむ みいつけた														
	かたかなを みつけよう														
	たのしく つかおう かんじの はなし														
	くじらぐも														
	しらせたいな、見せたいな														
	ことばで あそぼう														

学校からの資料の貸出依頼内容（平成22年度一学期・NO1）

依頼日	希望月日	学校名	内容	教科・単元	学年	必要冊数	貸出冊数
3月23日	4月6日	東野小	新1年生への読み聞かせ用紙芝居	その他	1年生	60	60
4月5日	4月13日	小郡小	学級文庫用	学級文庫	全学年	600	600
4月6日	4月13日	味坂小	鳥原・普賢岳に関する本・原爆資料	修学旅行	6年生	15以上	23
4月6日	4月13日	御原小	学級文庫用	学級文庫	全学年	271	270
4月7日	4月16日	味坂小	学級文庫用	学級文庫	全学年		89
4月12日	4月12日	三井高校	「寝ながら学べる構造主義」	その他		1	1
4月14日	4月26日	三国小	学級文庫用	学級文庫	全学年	806	806
4月14日	4月16日	大原中	「ねえ この本読んで全7巻」「おまえうまそうだな」			8	8
4月15日	4月15日	小郡高校	「論語物語」「四千万歩の男1」他			6	6
4月15日	4月20日	立石小	1年用（絵本のみ） 2年（絵本・詩2年生向き） なかよし学級（絵本）	学級文庫	1・2年生	100	100
4月15日		のぞみが丘	「風のゆうびんやさん」「お月さまのさんぽ」「お日さまのにおい」	国語	2年生	3	3
4月16日		大原中	「とんとかんどろぼう」			1	1
4月16日	4月20日	御原小	「13歳のハローワーク」	総合	6年生	1	1
4月16日	5月	小郡中	「熊田千佳慕」の本（画集・挿絵など）	美術	3年生	1～5	1
4月17日	4月20日	小郡高校	「イギリス人の愚者」	その他		1	1
4月18日	4月22日	三井高校	自衛隊について書かれた本（組織など）	その他			9
4月19日	4月30日	立石中	世界の国々	社会	1年生	50	35
4月20日	4月30日	宝城中	世界の国々（中国・アメリカ・フランス）	社会（地理）	2年生		19
4月21日	4月	立石小	学級文庫用	学級文庫	3年生	50	50
4月26日	5月7日	のぞみが丘	風ようについて	ドリーム	4年生		9
4月26日	4月30日	宝城中	レザークラフト・皮製品ができるまでの様子	総合	1・2年生		7
4月27日	4月27日	三井高校	「中世騎士物語」	その他		1	1
4月27日	4月30日	東野小	福祉関係の本	総合	4年生	40	40
5月6日	5月7日	立石中	エコクラフトの本	部活		5	6
5月10日	5月31日	小郡中	朝読書用の本	読書週間	全学年	300	300
5月10日	5月14日	宝城中	高松凌雲・野田宇太郎・田中新吾・佐々木正蔵（筑後河北誌・故郷の花5巻P2	総合	1・2年生		9
5月11日	5月11日	東野小	「ぶたくんと100ぴきのおおかみ」			1	1
5月12日	5月14日	三国小	植物や動物の生きる知恵	国語	2年生	33	35
5月13日	5月21日	のぞみが丘	たんぽぽの生態	国語	2年生		13
5月14日	5月18日	立石中	職業案内の本	職場体験	3年生	35	37
5月20日	5月28日	大原中	沖縄について	総合	2年生	160以上	98
5月21日	5月21日	立石中	学級文庫用	その他			44
5月24日	5月24日	小郡高校	「著崎人の人間関係」他	その他		4	4
5月26日	6月1日	のぞみが丘	米について	総合	5年生	たくさん	58

○埋蔵文化財調査センターの実物資料の貸出も

「貸出セット」で実物に触れてみませんか？

小郡市埋蔵文化財調査センターでは、学校教育の現場での学習支援ツールとして「貸出セット」を準備しています。実物を見て、触れて、郷土のあゆみを体感してみませんか？

市立図書館からのメール便を利用して、簡単に借りることができます。

基本的にＦＡＸでのやりとりのみで資料を借りることができます。貸出期間は２週間をメドとしますが、ご相談に応じます。

「貸出セット」は、コンパクトにケース１つにまとめて運送します。

各セットは、それぞれ一つのケースに納まるようになっています。土器や石器などの実物資料も、袋に入れてクッションの中に収めるだけです。

必要があれば、学芸員が学校に出向いて解説します。

基本的には資料の貸し出しのみですが、必要があれば、学芸員がさらに多くの実物資料とともに学校に伺います。





≪問い合わせ先≫
小郡市埋蔵文化財調査センター（教育委員会文化財課）
資料貸出セット担当
〒838-0106　小郡市三沢 5147-3
電話(0942)75-7555

〔各貸出セットの内容〕

①米作りセット内容一覧

実物資料Ａ	実物資料Ｂ	実物資料Ｃ
 弥生土器の甕	 弥生土器の壺	 炭化した米
複製資料	**写真・解説パネル**	**クロスワードパズルＡ**
 石庖丁		

≪実物資料Ａ≫
弥生土器の甕
食物の煮炊きに使用する甕です。当時の使用の痕跡であるススが付着したまま出土する例も多く見られます。

≪実物資料Ｂ≫
弥生土器の壺
食糧を保管するための壺です。弥生時代に出現した器種で、この壺＝余剰食糧の保管という概念により、弥生社会は多様化していきました。

≪実物資料Ｃ≫
炭化した米
弥生時代に食糧を保存するために掘られた「貯蔵穴（ちょぞうけつ）」は最後はゴミ捨て穴として利用されますが、その中から弥生人の食糧の残滓が見つかることがあります。小郡市内からは炭化米の他、イチイガシの実などが多く出土しています。

≪複製資料≫
石庖丁（複製品）
弥生時代の大陸系磨製石器の代表である石庖丁です。稲作とともに伝わってきました。市内からは弥生時代を通して、数多くの石庖丁が出土しています。

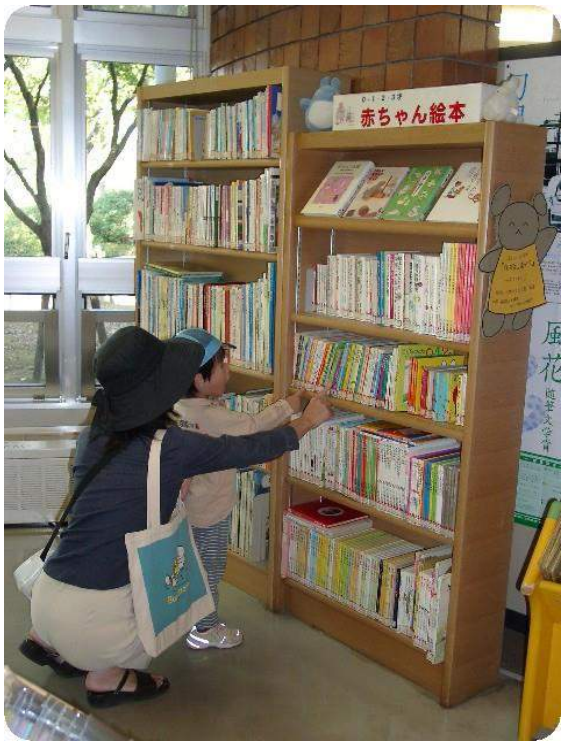
4-6　ブックスタート

Share books with your baby

お母さん、お父さん、
おじいちゃん、おばあちゃん
――――
赤ちゃんをとりまく人々も
みんないい笑顔。



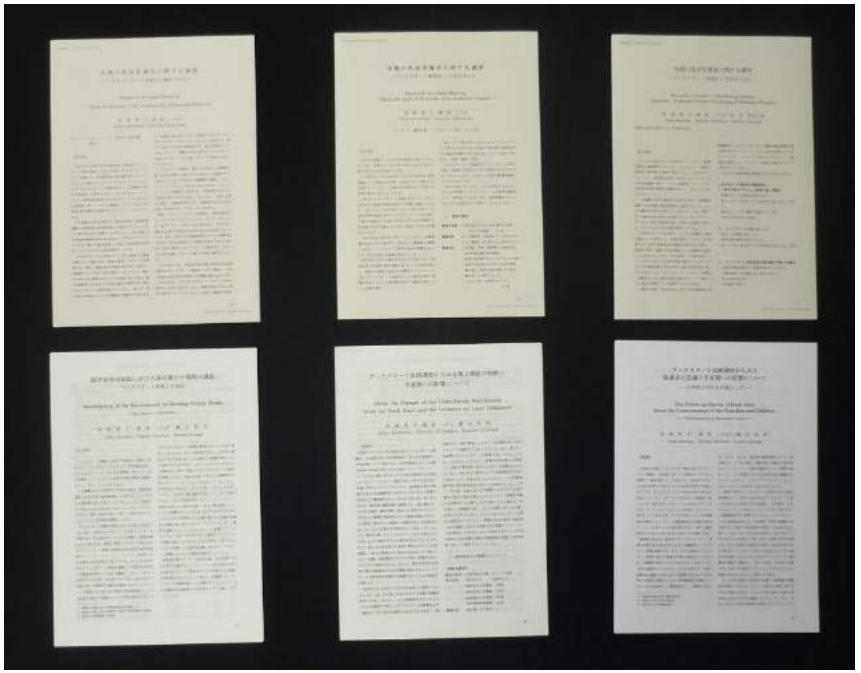
『平成15年2月から健康課の「10ヶ月健診」で実施』



『市立図書館赤ちゃんえほんコーナー』

○福岡女学院大学によるブックスタート追跡調査

《調査対象者》
平成14年度・15年度生まれ
子どもと保護者
《調査済み》
10ヶ月、1歳6ヶ月、3歳
就学前、小学校3年生
《調査予定》
小学校6年生、中学校3年生
《調査結果とブックスタートの効果》
ブックスタートを行った家庭は、
①本の好きな子どもが多い
②母親が育児に対する不安感が小さい
③父親の家事・育児への参加が積極的
④親子の絆が深まる





『福岡女学院と小郡市との協定書』

4-7　家読モデル校を中心に(平成 24～28年度)

①市全体での家読講演会を3回開催
②家読新聞コンクール(平成24年度)
　本のPOP(ポップ)コンクール(平成25～27年度)
③4月23日「子ども読書の日」、全小中学校の児童・
　生徒に啓発チラシを配布
④「家読のおすすめコーナー」の設置と啓発
⑤家読モデル校に2年間指定
　三国保、三国幼、のぞみが丘小(平成24～25年度)
　大崎保、小郡幼、小郡小(平成26～27年度)
　味坂保、味坂小(平成28～29年度)
　・保護者対象の講演会の開催
　・家読ダイアリーの配布・記載
　・家読用図書の整備

○市全体での家読推進の取り組み(その1)

家読推進講演会



『村上しい子氏(小学生とその保護者対象)』



『小林いづみ氏(乳幼児の保護者対象)』



『東山彰良氏(中学生以上・一般対象)』

○市全体での家読推進の取り組み(その2)

学校との協働



『4月23日の子ども読書の日、小中学生に配布した学校給食メニューと絵本のコラボの内容の家読啓発チラシ』



『本のPOPコンクール』



『味坂小学校での絵本の読み聞かせ』



『市立図書館での家読のおすすめコーナー』

4-8　学校を対象とした事業

4-8-1　中学生読書活動サポーター養成講座





『県のフェスティバルで発表』

- 平成26年度は福岡県事業、平成27年度からは小郡市事業
- 中学1～3年生を対象に各校から3名～6名、全員で約25名
- 読書の楽しさやおもしろさを中学生同士が直接に伝えるための工夫や催しを校内で実施
- 図書委員会での読書活動を推進
- 平成23～25年度は「小学生読書リーダー養成事業」を実施

4−8−2　読書好きの子どもを増やす「本はともだちプロジェクト」

◎本のPOP（ポップ）制作講座



『POP制作の指導』

・図書委員を対象に、全小中学校で実施(のぞみが丘小は5年生)

・外部講師による指導

・自分の好きな本を絵とメッセージで友だちに紹介

・本のPOPコンクールで優秀作品は表彰

・応募された全作品は市立図書館で市民向けに展示



『できあがったPOPを活用した図書コーナー』

◎いきいき読書活動コンクール

- 日頃の読書活動の効果を確認し、取り組みの見直し、新たな取り組みを検討するための機会とすることを目的
- 読書活動推進に関する指導や行事、読書環境の整備などの取り組みを報告書にまとめ、外部審査員が現地ヒアリング
- 優秀実践小学校、中学校が福岡県読書推進大会小郡市大会で実践発表し、表彰



『外部審査員によるヒアリング』



『実践発表と表彰』

4−9　小郡市の図書館ネットワークを教材化

子どもの意識

【目標】小郡市の読書推進のためにつくられた情報ネットワークについて具体的に調査し、情報の有用性や役割、適切な収集・活用、発信や伝達の仕方をもとに、情報を有効に活用することが大切であることを考えることができる。

子どもの活動

④便利な情報を使っていきたいな。

必要な情報と伝えたい情報をつなぐしくみがあるから、便利なんだ。

④情報ネットワークの利便性について話し合う。

③どの取組にも必要なことは何かな

小郡市立図書館ネットワーク
（公共図書館・学校図書館）

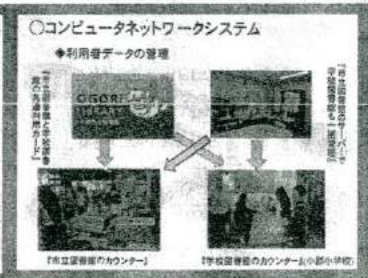


③読書推進の取組の共通点を見出す。

②小郡市の読書推進の取組がわかったよ。









②小郡市図書館の工夫を整理図を使い、見つけ出す。

①読書のまち日本一になるためにどんな取組をしているのかな？

①市立図書館に行って、観察・調査する。

小郡市在住の直木賞作家東山彰良さんの声
「小郡市立図書館は使いやすい！」

小郡市図書館館長の声
「小郡市は、読書のまち日本一を目指している」









小学校5年生　社会科「広がる情報ネットワーク　」の単元

4-10 小郡市の今後の方向

①「読書のまちづくり日本一」の実現

⇒環境整備と司書力のアップ

⇒マスタープランでの施策化

②「読書好きの子ども」＝「未来の市民」の育成

⇒自治体の目指す方向を決める人たち

⇒協働のまちづくりの基本

③次世代へ継承していく「ブックスタート」の実践

⇒「家読」、「家庭内での読書環境」の継承

⇒読書活動の循環

4-11　The Five Law of Library Science

ランガナタンの図書館学の5法則　1931年

1. Book are for use.⇒図書は利用するためのものである
2. Every person his or her book.⇒いずれの読者にも
   すべて、その人の図書を
3. Every book its reader.⇒いずれの図書にもすべて、
   その読者を
4. Save the time of the reader.⇒図書館利用者の
   時間を節約せよ
5. A library is a growing organism.⇒図書館は
   成長する有機体である